

看護ひろしま

令和4年度事業計画

2022
April
No.242

4

広島県版自己点検ツール「チャレンジ」
推進事業 報告会開催

地域保健・産業保健フォーラムの報告

Welcome to フレッシュナース

三職能合同委員会の活動報告

看護研究倫理審査について

奨学金の募集開始

【助産師コーナー】
助産師職能研究会報告

【Topics】
「福利厚生サービス」について

【Information】
図書室だより

看護生涯教育・研究センター
からのご案内

令和4年度 広島県看護協会
通常総会

と き／令和4年6月4日（土）
13:30～16:00

ところ／広島県看護協会会館
プログラム／通常総会

令和4年度「看護の日」広島県大会

と き／令和4年5月14日（土）13:00～15:40

ところ／広島県民文化センター
プログラム／式典・アトラクション・
講演（安藤和津氏）

※入場には事前申込が必要です。



Hiroshima Nursing Association
（公財）広島県看護協会
会員数／合計18,839人
（令和4年4月1日現在）

公益社団法人 広島県看護協会 令和4年度 事業計画

重点事項

- ① 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築
- ② 看護職の人材確保と定着推進

本会は、公衆衛生の向上を目的とした公益目的事業を推進していくために、定款第4条に沿って以下の事業を行います。（下線は新規事業）

I

公益目的事業

看護の質の向上に関する事業

専門分野における最新の知見等の情報を発信し、医療現場等における看護の質向上を図る。

- ① 看護の専門性を高める教育と生涯学習の支援
 - 生涯教育研修の推進
 - ・ 新人研修・卒後2～3年目を対象とした集合研修
 - ・ ジェネラリスト研修・スペシャリスト研修
 - ・ 看護管理者研修・看護教育者研修
 - ・ 認定看護管理者教育課程
 - キャリナースへの登録推進
 - 看護実践者としてのキャリア開発を支援するためのロールモデルとして看護のスペシャリストを活用
 - 会員の利便性を考慮し、研修開催を継続・拡大
- ② 保健師・助産師・看護師職能に関する活動
 - 保健師職能の活動 保健師職能研究会等
 - 助産師職能の活動 助産師職能研究会等
 - 看護師職能の活動 看護師職能研究会等
 - 三職能合同研究会の企画・運営
 - 日本看護協会職能委員会との連携
- ③ 医療安全対策の推進
 - 医療事故防止の推進
 - 医療安全管理者の養成等

III

公益目的事業

看護職の人材確保と定着推進に関する事業

行政や関係機関と連携し、ナースセンターの活用(求職・求人相談、就業斡旋)促進、ハローワーク等へ出張相談を行う。また、未就業の看護職へ復職のための研修やセミナー及び看護職員の働き続けられる職場づくりの支援等を行う。

- ① ナースセンター事業の推進
 - 再就業促進事業
 - ・ 就業相談会の開催(広島・福山)
 - 看護職員復職支援事業
 - ・ 協力病院・協力訪問看護ステーションにおける実践研修の実施・事前研修
 - 看護職員確保対策推進事業
 - ・ サテライト福山の相談体制の推進
 - ・ 早期離職者就業促進(いきいき子育て中のナースカフェ等)
 - ・ 看護職離職時等届出の推進
- ② ワークライフバランス推進事業
 - ・ 働き続けられる職場環境づくりの支援(アドバイザー派遣)
 - ・ 相談体制の充実(広島・福山)
- ③ 広島県版自己点検ツール「チャレンジ」推進事業

II

公益目的事業

調査研究及び看護制度等の提言に関する事業

日本看護協会や関係行政等が実施する調査への協力を含め、看護実践に根ざした看護に係わる調査等を実施する。

- 看護に係る実態調査等の実施
- 日本看護協会等関係機関・団体の調査への協力
- 看護業務及び看護制度の改善等に関する情報提供

IV

公益目的事業

在宅ケアの推進及び地域住民の健康増進に関する事業

ケアを必要とする県民が安心して在宅療養ができるよう多様なニーズに対応する訪問看護サービスを提供するため、医療機関、行政等との連携強化を図り、訪問看護ステーションにおける看護サービスの向上を図る取り組みを行う。また、支部が中心となり、県民の健康な生活を実現するために、関係機関等と連携し、地域住民の健康維持・増進の普及啓発を目的として「まちの保健室」を開催する。

- ① 協会立訪問看護ステーション事業等の推進
 - 訪問看護ステーション5か所、居宅介護支援事業所5か所、地域包括支援センター1か所(広島市からの委託)
 - 地域の多様なニーズに対応できる訪問看護の提供
 - ・ 24時間訪問看護体制の充実
 - ・ 医療依存度の高い在宅療養者及び家族への支援
 - ・ 感染症・災害発生時等の「業務継続計画」の整備
 - ・ 訪問看護記録等のICTの活用
 - ・ 専門性の高い看護師の育成・活用
 - 地域における多職種との連携強化
 - ・ 在宅医療介護連携の推進
 - ・ 地域の訪問看護ステーションとのネットワーク構築
- ② 在宅医療の人材確保のための推進事業
 - 訪問看護師育成支援
 - 訪問看護版インターンシップの実施
 - セカンドキャリアの活用
 - ・ プラチナナース支援研修
- ③ 地域看護連携の推進
 - 医療機関と訪問看護ステーションの相互交流派遣研修
 - 地域の中核病院等から訪問看護ステーションへの出向
 - 退院支援担当看護師の育成及び連携
- ④ 県民への健康増進事業の推進
 - ・ 健康増進・介護予防に関する活動
 - ・ 子育て支援に関する活動
 - ・ 小児救急医療電話相談(#8000)

V

公益目的事業

看護の普及啓発に関する事業

毎年、5月12日を中心に「看護の日」広島県大会の開催や「看護週間」関連事業をとおして、看護職や県民に対して看護に関する関心と理解を深め、看護の魅力や重要性を伝える。

- ① 「看護の心」普及啓発事業
 - 「看護の日」広島県大会(会場：広島県民文化センター 5/14(土))
 - 進路相談会
 - ふれあい看護体験
 - 看護の出前授業
- ② 看護広報事業

VII

公益目的事業
収益事業等
法人管理事業

その他本会の目的を達成するために必要な事業

事業運営に必要な会議の開催や行政機関および関連団体等の活動に協力するとともに、本会が実施する公益活動は多職種と連携し実施する。また、円滑な組織運営のための会議は計画的に実施する。会員の看護管理者を対象にした研究会は継続して実施し、会員のための福利厚生及び奨学助成を規程に基づき実施する。

【諸会議の開催・支部活動及び会員支援に関する事業等】

- 理事会：年6回程度
- 支部長会：年3回
- 将来構想検討委員会(仮)設置
- 新任支部役員連絡会議・事務職員連絡会議：年1回
- 看護管理者(看護管理者、中間看護管理者等)研究会
- 広島県看護協会会館の管理・運営
 - ・ 適正な財産管理
 - ・ 会館の維持管理、会館機能の充実
 - ・ Web環境の整備

VI

公益目的事業

災害支援、健康危機支援に関する事業

県内に災害が発生し行政等から看護職の派遣要請を受けた場合、または他の都道府県に大規模災害が発生し日本看護協会及び関係機関等から看護職の派遣要請を受けた場合に、対応できるよう体制及び環境の整備を行う。また、健康危機に対しては、関連する情報収集及び発信を行い医療関係者として必要とされる支援を行う。

- ① 災害看護支援体制の充実
 - 災害支援体制の充実
 - ・ 災害支援関連物品の整備及び管理
 - 災害支援ナースの育成
 - 行政及び関係機関との連携
- ② 健康危機に関する支援
 - 感染管理認定看護師等の派遣に係る体制の整備
 - 広島県との協定に基づき、医療機関等で新型コロナウイルス感染症発生時の看護職員派遣調整他

Top!cs

日本看護協会会員向け「福利厚生サービス」2021年10月1日開始のご案内

「福利厚生サービス」をはじめました。

会員の皆さまへ、SOMPOグループが提供するサービスです。ぜひ、ご活用ください。

このたび日本看護協会はSOMPOグループと共に、看護職が生涯を通して安心して働き続けられる環境づくりの一環として会員の皆さまへ、「福利厚生サービス」を提供します。

「福利厚生サービス」
ご案内サイト

生きるを、ともに、つくる。
公益社団法人 日本看護協会

SOMPO
安心・健康・未来のパートナー



令和3年度 広島県版 自己点検ツール「チャレンジ」 推進事業 報告会開催



広島県看護協会事業部

令和4年2月24日に広島県版自己点検ツール「チャレンジ」推進事業として、ワークショッププラスでの取り組みの報告会をWebで開催しました。

広島県版自己点検ツール「チャレンジ」は、看護職が働き続けられる職場環境づくりを目指して平成28年度より実施しており、令和元年度からは協会事業として各医療機関の自走化実現を目指して取り組んでいます。

ワークショッププラスとは、広島県版自己点検ツール「チャレンジ」の実施により見える化した自施設のデータを用い、ワークを通して活用方法、課題の抽出方法を学ぶことを目的とした研修です。

今年度は広島と福山の2か所の会場で6施設ずつ12施設の参加で開催しました。参加動機として、今年初めてアンケートを実施した施設や続けて実施しているけれども改めて分析や課題の抽出方法を学びたいなど様々でした。グループワークを通して、他施設の方からの意見をいただきながら、自施設の課題を明確にすることができました。

報告会では、各施設が明らかになった課題について、今後の方策を発表しました。なかには、弱みだけに目を向けるのではなく、強みをさらに強化していくという施設もありました。

昨年度までは、報告会をワークショッププラスの参加者だけで行っていましたが、今年度は会員施設全体に参加者を広げました。チャレンジに参加したことのない施設からの参加もあり「できている病院だけでなく道半ばの様子も聞いて自分たちも頑張ってみようと思った」「自施設でも取り組める項目が多くあり参考になった」「他施設の取り組みが参考になる」などの意見が聞かれました。

チャレンジを継続して実施し、職場のPDCAサイクルを回すことで、職場環境の改善に役立てていただきたいと思います。



令和3年度ワークショッププラスの様子

もっと考えてみよう!『大人の発達障害』 ～生活者としての視点から～

保健師職能委員会 戸政 裕美 (JR西日本 広島健康増進センター)



西村浩二所長



大政和相談員

「もっと考えてみよう!『大人の発達障害』～生活者としての視点から～」をテーマに、広島県発達障害者支援センターの西村浩二所長、大政和相談員を講師にお招きし、発達障害の基本的知識から具体的な関わり方まで分かり易くご講演いただきました。「目指すのは、対等な関係になるように必要な人には特別な配慮をし、適応できるよう環境を調整すること。個々の特性に応じた

対応をすることは決して特別扱いではない」とのお話が印象に残りました。保健師として、集団の状況と本人の特性を理解し、双方が納得できる配慮や工夫について調整できるよう支援することの大切さを感じました。久しぶりに対面実施したグループワークでは、学びをどう活かしていくかについて活発な意見交換が行われました。発表や講師の助言を通じて理解も深まり、充実したフォーラムとなりました。



Welcome to フレッシュオース

共に歩いて
いきましょう!



実地指導者研修の様子



皆さんで成長していきましょう

広島市立広島市民病院 面崎 良子

現在も新人指導に携わっていますが、自身の指導を振り返りながら実地指導者研修を受講しました。研修を受ける中で、こうすればもっと良かったのではと思う面が多くありました。指導者も自身の指導を振り返って成長していかないといけないのだと学ぶことができました。実地指導がより良いものとなるように、指導者も新人看護師も成長できるように今回学んだことを伝達し、皆さんで成長できるよう尽力していきたいと思えます。

一緒に学び成長したい

福島生協病院 新尺 晴夏

新人看護職員の職場定着を困難にしている要因として、仕事の魅力を感じにくい状況があります。初めは業務を行うことが精一杯で、「こういう看護をしたい」という思いはあってもそれを行うための十分な時間の確保が難しい。業務に慣れてくる事で少しずつやりたいことができる余裕が出てくると思います。新人看護職員にももっと看護をしたい、看護職として未来に夢が持てるようになったと感じてもらえるよう関わっていきたくです。

オンライン
研修

令和3年度 第1回助産師職能研究会

助産師職能委員会 三浦 美保 (公立学校共済組合 中国中央病院)

10月30日「周産期における災害対策(第2回)～災害に強い産科病棟を目指して～」をテーマに、第1回助産師職能研究会(初のオンライン)を開催しました。大阪母子医療センター 宮川祐三子看護部長に講義いただき、「減災カレンダー 助産師版」を用いて、個人ワークを行いました。自宅や職場などそれぞれの置かれている状況をイメージしながらどう対応すればよいか具体的に考えることができました。

日頃からの災害への準備や患者教育の重要性、SNSの活用、病院間や行政などとのネットワークの大切さなど今すぐにでも始められる内容も多く、各施設の災害マニュアルを見直す良い機会となりました。「日常にできないことは非日常にはできない。」災害対策に正解はなく日常からシミュレーションを

繰り返すことで様々な場面を想定することの重要性を学ぶことが出来ました。



減災
カレンダー
助産師版

QRコード



オンライン
研修

令和3年度 第2回助産師職能研究会

助産師職能委員会 小澤 美香 (医療社会法人 興生総合病院)

12月4日に、広島国際大学 助産学専攻科 入江寿美代先生をお招きし、第2回助産師職能研究会「ベテラン助産師に聴く分娩期ケア～日頃の悩みを解決しよう～」を開催しました。

入江先生には、「エビデンスに基づいた実践につなげる分娩期ケア」というテーマで、最近のデータや基本的なケアに繋がるエビデンスの言及、臨床で経験する事象の解釈などをご教示いただき、助産師としてさらなる知見を深めた研究会でした。オンライン形式でしたが、グループワークでは、各施設の分娩促進ケアやコロナ禍における妊産婦への関わり方の工夫、日頃の実践における悩みを共有し解決す



るために、活発な意見交換が繰り広げられました。今回の研究会を通し、「新人や学生指導する際に活かせる」「学生時代に習ったことの再復習になった」などの意見があり、自己研鑽や後輩育成に一味同心に取り組む助産師達の活力がさらに高まることを感じました。

三職能
合同
委員会

三職能合同委員会の活動

助産師職能委員会 委員長 三浦 満 (土谷総合病院)

三職能合同委員会は「保健師・助産師・看護師の連携を推進する」ことを目的とし、三職能合同研究会を開催しています。この2年「感染症における三職能の連携」「災害の視点から、三職能の連携を考える」をテーマに開催予定でし

たが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止しました。今はそれぞれの場で医療・看護活動維持の為、多職種と連携していきましょう。

委員会では皆様の期待に沿う研究会を目指して参ります。

支部にZoomが入りました

広島県看護協会事業部

新型コロナウイルス感染により、支部の事業や役員会などが縮小、中止となり、役員会や研修会をWeb開催できるようにしてほしいとの要望が、支部から協会へ多く寄せられました。

支部事務所にZoomアカウントが入ることになり、



令和3年12月1日、支部役員を対象に説明会を開催い



たしました。11支部より支部役員、事務所職員52名の参加があり、当日は、クラウドサーフ合同会社代表西田光憲様よりZoom会議への参加方法、会議の招待の方法など実践を交えて説明を受けました。1時間半という短い時間でしたが、説明を聞きながら操作することで、難しいという意識が軽減できたようでした。支部でZoomが活用され、会議や研修会の開催をスムーズに行うためには、回数を重ねることも必要と思われます。

今後も支部と協力しながら事業を進めていきたいと思っています。

令和4年度看護研究倫理審査について

看護研究倫理審査委員会 委員長 村田 由香 (日本赤十字広島看護大学)

令和4年度も看護研究倫理審査を2回(7月、9月)行います。

「看護研究倫理審査の手引き」、申請書類の様式は広島県看護協会ホームページからダウンロードできます。

対象	本会会員が所属する施設に研究倫理審査委員会等が設置されていない場合で、本会会員が倫理審査の申請者(研究責任者)であり、学会等(本会支部研究発表会も含む)で研究成果を公表する予定の者 ※支部看護研究サポート等で指導を受けている場合、指導者の許可を得て申請してください。 ※本会で開催予定の研修「看護研究における倫理と研究の進め方」を受講することが望ましい。
申請方法	「看護研究倫理審査の手引き」をご覧ください。
審査書類受付	① 第1回：6月15日(水) 締切 ② 第2回：8月17日(水) 締切 (締切日必着)
問合わせ先	(公社) 広島県看護協会 看護生涯教育・研究センター 看護研究倫理審査委員会事務局 TEL 082-503-2381

令和4年度広島県看護協会奨学金の募集が始まりました

募集期間：令和4年4月1日から6月末日

奨学生の資格：広島県看護協会会員であり、卒業又は修了後1年以内に広島県内に看護職として就職し、次の貸与の対象に該当する者

貸与の対象		貸与期間	貸与金額
看護系大学院の在学学生	修士課程	2年間	月額 50,000円
	博士課程	3年間	
保健師学校養成所・助産師学校養成所の在学学生		1年間	月額 20,000円
看護系大学の編入学生(3年次・4年次在学学生)		正規の就学年限	月額 30,000円
看護師養成所の在学学生	全日制・通信課程	2年間	月額 20,000円
	定時制	1年間(実習期間)	月額 30,000円
日本看護協会が認定した認定看護師教育課程の研修生		1年以内	月額 100,000円

上記とは別に、「広島県看護協会齊藤利子奨学金」があります。

それぞれ詳細は広島県看護協会HP (<https://www.nurse-hiroshima.or.jp/?admission=scholarship>) をご参照ください。

お問い合わせ：総務部 (082-293-3362)

図書室視聴覚資料のご案内

図書室では、現在505巻の視聴覚資料を所蔵しています。この度新たに購入したDVD2セットをご紹介します。

① 映像でやさしく学ぶ 生命倫理と看護倫理の基礎(全5巻)

- 「生命倫理と看護倫理の基礎」「専門職の倫理」
- 「倫理的問題の事例検討方法ー倫理的意思決定モデルを用いたアプローチ法ー」
- 「倫理的問題の事例検討演習I 成人看護学・老年看護学」
- 「倫理的問題の事例検討演習II 精神看護学・小児看護学」

② 事例で学ぶ! 医療安全シリーズ(全2巻)

- 「診療の補助編」「療養中のケア編」

視聴覚資料の郵送貸出しサービスも行っております。是非ご活用ください!

お問い合わせ先

広島県看護協会図書・情報管理室
TEL・FAX 082-296-5079
E-mail tosy@nurse-hiroshima.or.jp



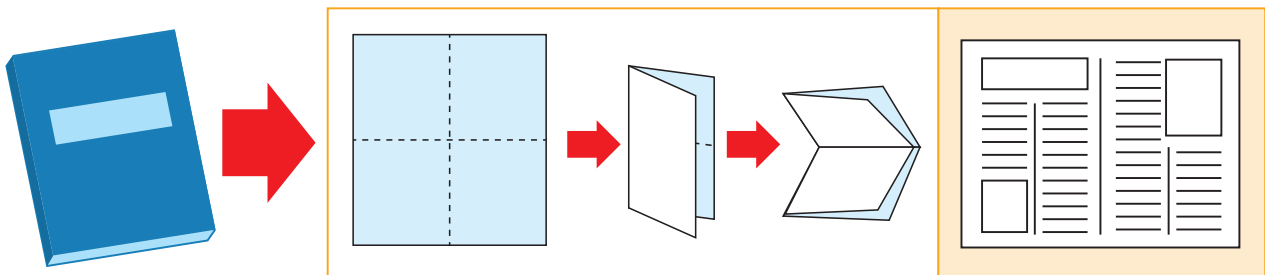
看護生涯教育・研究センターからのご案内

NEW! 2022年度 教育計画をリニューアルしました

直角4つ折り(両面印刷) 4つ折り仕上がりは、A4サイズです。

★研修概要を一覧で見ることができます。★掲示板に貼り、活用できます。

※教育計画の詳細は広島県看護協会ホームページをご確認ください。



問い合わせ先

看護生涯教育・研究センター 継続教育部 TEL 082-503-2381
E-mail kensyu@nurse-hiroshima.or.jp URL <https://www.nurse-hiroshima.or.jp>



色～看護の彩り～表紙の写真／広島城と桜(広島中支部)

桜の花咲く、春の暖かい気候となりました。広島市街の中心部にある広島城は、桜の花がきれいに咲きそろう、花見の名所となっています。
桜の花の色は、「白」・「薄桃色」・「濃い桃色」とあり、桃色の心理効果は、安らぎに満ち足りた気分になる、幸せな気持ち・優しい気持ちになる色でもとても愛らしい色合いとなっています。
現在、コロナ禍で、医療現場は逼迫して、心身ともに負担が増し、現場では命を守るため患者さんに向き合い日々奮闘しています。桜咲く春の季節となり、桜の花を眺めながら、日々の緊張を和らげ、春の暖かい季節と桜の花でちりばめられた景色を堪能していきたいですね。(松浦 美帆)

発行所
公益社団法人広島県看護協会
〒730-0803 広島市中区広瀬北町9-2
TEL.(082) 293-3362
発行責任者 山本 恭子
編集 広報委員会
制作 有限会社バル